

女の子が生まれた最初の年のお祝「初節句」に、子どもの無事な成長を願ってひな人形を飾るひなまつり。柳川では、さらにそのひな壇のまわりに、色とりどりの「さげもん」を飾る慣わしがありますが、それを訪れた人びとも見て楽しんでからおうというのが「さげもんめぐり」の始まりです。

女性としての美しさ、強さ、誇りなどを身に付けて欲しいという親心が、その飾りひとつひとつに込められています。

毎年、多くの方がおいでますまつりです

毎年、2月11日から4月3日の間、「おひな様始祭」に始まり、もてなしの心にあふれた「恵美須ひな小路」などもありつつ、まちは「さげもん」で彩られます。

雅な衣装に身を包んだかわいらしい稚児たちが、舟で繰り出す「おひな様水上パレード」は、さげもんめぐりの見所のひとつ。祝いの風景あふれる、柳川の春です。

ひと針、ひと針、思いをこめた飾り。家々のさげもんを見て歩く楽しみが、いつしか柳川の春の風物詩となりました。

春を告げる

さげもんめぐり



さげもんは、布細工ものと柳川ま
りを交互に7列7個の49個をう
るします。人生50年と言われた
時代に女性は「歩引」で49年と
した意味を含ませ、さらに
これに大きな柳川まりの連を加
える事により、人生
80年まで長生きできるように
願ったとされています。お姫様
暗き教養のひとつとして、お姫様
が生まれると琴爪入れなどに使
われる、健やかな成長を願う精
い贈ったのがはじまり。やがて吊る
し雛と姿を変え、柳川まりりと
もには承承されてきました。